

あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 197

平成27年1月1日

熊本県立図書館発行

“レファレンスサービス”ってなに？

図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

Q. おたずね

テレビドラマ「花子とアン」で葉山蓮子のモデルとなった柳原白蓮と恋に落ちた宮崎龍介は熊本にゆかりのある人だと聞きました。宮崎龍介や柳原白蓮について書かれた本はありますか？県内にゆかりの場所や資料館などがあれば行ってみたいので教えてください。



A. こたえ

宮崎龍介は、孫文を支援して辛亥革命を支えた革命家として著名な宮崎滔天の長男として、玉名郡荒尾村（現在の荒尾市）に1892年（明治25年）誕生し、1905年（明治38年）一家で上京する13歳までを熊本で過ごしました。

1920年（大正9年）、東京帝大系の機関紙『解放』の編集の仕事で、当時東京帝大の学生だった龍介が白蓮のもとを訪ねたのが二人の出会いとなり、後の「白蓮事件」へとつながっていきます。

荒尾市の『宮崎兄弟資料館』（荒尾市荒尾949-1 TEL0968-63-2595）に、生家も保存されており、宮崎家のルーツや龍介の生涯が詳しく紹介されています。

龍介の母ツチの生家であり、龍介が預けられて小学生時代を過ごした前田家に関する資料館として、漱石の草枕の舞台となった玉名郡天水町小天「漱石・草枕の里 前田家別邸」（0968-82-4511）があります。

《参考文献》

『白蓮自叙伝 荊棘（いばら）の実』（柳原白蓮著 河出書房新社）【913.6ヤ】

『恋ひ歌 宮崎竜介と柳原白蓮』（齋藤憐著 而立書房）【912.6サ】

『白蓮 気高く、純粋に。時代を翔けた愛の生涯』（宮崎蒞冬監修 河出書房新社）【911.1ヤ】

『白蓮と傳右衛門そして龍介』（小林弘忠著 ロングセラーズ）【911.1ヤ】

『娘が語る白蓮』（宮崎蒞冬著 河出書房新社）【911.1ヤ】

『評伝 宮崎滔天』（渡辺京二著 大和書房）【283ミ】

『孫文の辛亥革命を助けた日本人』（保阪正康著 筑摩書房）【283ミ】

『夢翔ける 宮崎兄弟の世界へ』（熊本出版文化会館編 荒尾市宮崎兄弟資料館）【283ミ】

『恋の華 白蓮事件』（永畑道子著 藤原書店）【911.1ナ】



おといあわせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市中央区出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4214 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp